

11 「知」の集積と活用の場によるイノベーションの創出

【令和2年度予算概算要求額 5,271 (4,335) 百万円】

<対策のポイント>

農林水産・食品分野におけるオープンイノベーションを促進するため、農林水産省が設置した『「知」の集積と活用の場』において、**様々な分野の多様な知識・技術等の連携**を図ります。

<政策目標>

- 開発研究ステージにおける実施課題の80%以上において、商品化・事業化が有望な研究成果を創出
- 基礎研究ステージ及び応用研究ステージにおける実施課題の70%以上において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出

<事業の内容>

1. イノベーション創出強化研究推進事業（提案公募型研究事業）

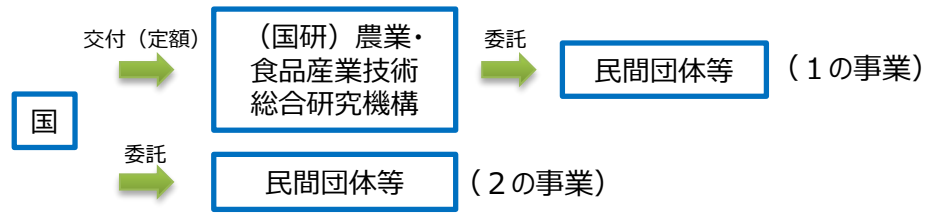
- 『「知」の集積と活用の場』からの提案など、**異分野のアイデア・技術等を農林水産分野に導入し、革新的な技術・商品・サービスを生み出す研究を支援**します。

特に、地域（中山間地域）や品目（露地野菜、果樹）ごとの**空白領域**に対応した**スマート農業技術**や**輸出促進に資する技術等**の研究開発を重点的に支援します。

2. 「知」の集積による産学連携推進事業

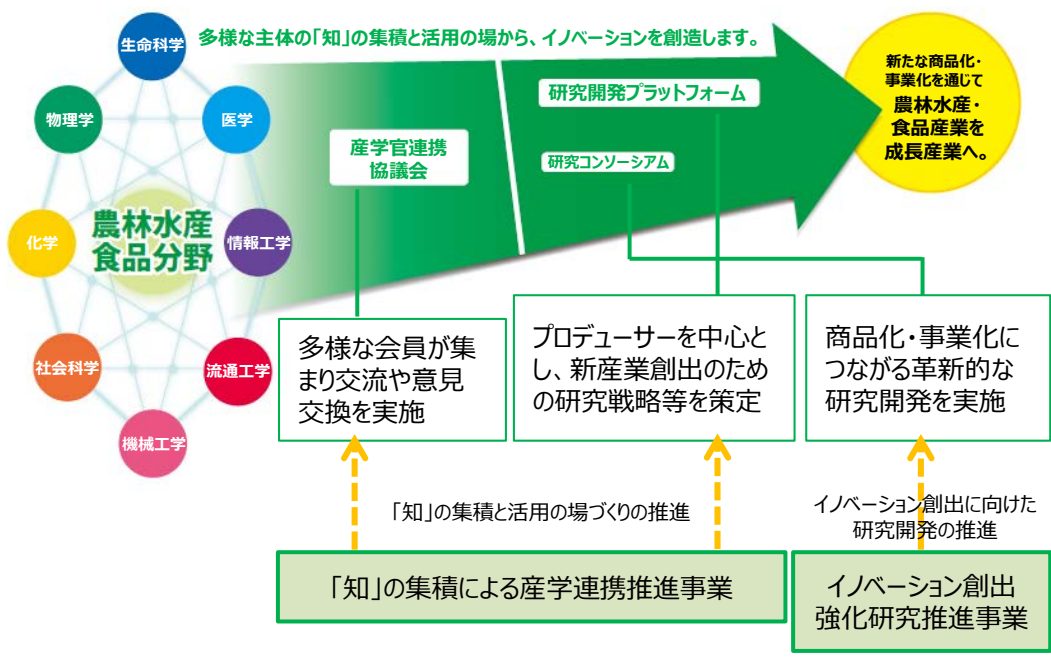
- 『「知」の集積と活用の場』における協議会の運営や生産者と研究機関が交流するための展示会の開催、大学・公設試等が有する技術を事業化して現場実装につなげる取組等、**イノベーションの創出に向けた取組を支援**します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

「知」の集積と活用の場
 { 農林水産・食品分野に様々な分野のアイデア・技術等を導入した産学官連携研究を促進するオープンイノベーションの場 }



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-5530)